

農林水産業を力強い産業へ 利益の上がる産業へステップアップ



ポストこしひかり候補の田植え(H28.5)

福井県は、豊かな大地や清らかな水に恵まれ、古くから、米作りを中心に農林水産業が発展してきました。

しかし、近年は米価の低迷や担い手不足等の課題に直面しており、特にTTP(環太平洋パートナーシップ協定)により、福井県の農林水産物の生産額は、最大で約17億円の影響が出ると、県では試算しました。

このため、収益性の高い農林水産業を目指し、必要な施策を行っています。

誕生間近ポストこしひかり

米の食味ランキングにおいて、県産コシヒカリは、平成24年から4年連続「特A」の評価を得ています。これは、米どころである北陸3県の中でも福井県だけです。

県では平成23年度に、コシヒカリの後継として、新たに日本を代表する「ポストこしひかり」の開発に着手。さらにおいしく、育てやすく、環境にやさしい米を目指し、20万種あった候補を、昨年度4種まで絞り込みました。今年度はその中から1種を選びます。

6月3日には、食の専門家や料理人、米穀店等が参加するブランド化戦略会議を開催。平成30年度の本格的な生産を拡大するとともに、生産コストを減らすために、メガファーム(経営面積1000ヘクタール以上)を育成するなど、経営の大規模化をさらに進めます。

産や販売に向け、高価格で販売するための戦略を策定していきます。

農業の経営規模を拡大

今年3月、九頭竜川下流域(福井・坂井平野)において、用水路のパイプライン化工事が完了。きれいで冷たい水が約1万2千ヘクタールの農地に安定供給されています。

日本一整備の行き届いた生産基盤が完成したことからも、育てやすく、おいしい米の生産を拡大するとともに、生産コストを減らすために、メガファーム(経営面積1000ヘクタール以上)を育成するなど、経営の大規模化をさらに進めます。

園芸作物の生産を増やす

米に加え、野菜等の園芸作物を栽培し、経営を多角化することも重要です。

今回のパイプライン化により、三里浜砂丘地では、ミディトマトやメロン等に加え、新たにアスパラガスやショウガ等の生産を始めます。坂井北部丘陵地では、加工用のキャベツやニンジン、タマネギの栽培を進めます。

また、大規模な施設を活用



大型ハウスでのミディトマト栽培

した園芸も推進しています。嶺南地域を中心に、ミディトマトやイチゴを大型ハウスで栽培し、一年中出荷できるようにします。

一方、狭い農地が多く、生産規模の拡大が難しい中山間地域では、米よりも利益率の高い施設園芸や、鳥獣被害を受けにくいクルミ、カリン等の果樹栽培を推進します。

生産振興課
☎0776・20・0432

地魚の消費を拡大

昨年、越前がにの最高級ブランド「越前がに極」を販売しました。これにより越前がに全体の評価が向上。漁獲金額が前年を2割上回り、過去

最高の21億円となりました。

おいしい地魚をより多くの方に提供するため、新たなブランド魚として、福井生まれ、福井育ちの「ふくいサーモン」の養殖を振興しています。5月に、おおい町で初水揚げされ、県内のスーパーや回転ずし店等に出荷されました。



ふくいサーモンの初水揚げ

また、県内最大規模の加工・製氷・冷蔵施設となる敦賀水産基地が誕生。加工したサワラやアカガレイ等を、学校給食や量販店に供給することにより、地魚の消費拡大と漁業者の所得向上を目指します。

水産課
☎0776・20・0437

県産材をフル活用

林業の現場や製材工場で発生した木材を砕き、燃料として発電を行う「木質バイオマス発電施設」が、4月に大野市で稼働を開始。これまで活用できなかった間伐材も余すことなく利用できる環境が整いました。

今後は、県産材をさらに効率的に生産するため、木材を山からスムーズに運び出すことのできる高性能林業機械の導入を進めます。

担い手を育てる

県では、U・イーターン者を含め、県内で新たに農林水産業に挑戦する方を応援しています。

一昨年の園芸カレッジ、昨年の水産カレッジに続き、5月には、林業分野の研修機関「ふくい林業カレッジ」を開校しました。伐採、搬出等の技術や林業機械の運転資格



林業研修(イメージ)

を取得する研修を行い、県内で林業に従事する人を1年かけて育てます。

また、農家レストランや体験農園等、「里山里海湖ビジネス」の担い手を育成する「ふくい農業ビジネスセンター」を、4月、越前市にオープンしました。生産規模にかかわらず、すべての農業者を対象とする実地研修のほか、料理人や伝統工芸の職人等、異業種との交流を行います。

県産材活用課
☎0776・20・0448

地域農業課
☎0776・20・0433

県外・海外へ売り込む

県では、東京や大阪等で県産食材を使った料理を提供する「福井ゆかりの店」を増やすなど、大都市圏への売り込み力を入れていきます。

さらに、アジア諸国への輸出拡大を目指し、「ふくい食輸出サポートセンター」を4月に新設。県、農林漁業団体、商工団体、事業者等が一丸となり、県産食材や日本酒を、伝統的工芸品や観光と一体的にPRします。食材が豊富にそろった秋以降には、シンガポールや香港、台湾で、商談会や物産展を開催します。



台湾での物産展(H27.11)

食料産業振興課
☎0776・20・0421

知事コラム



福井県知事
西川 一誠

林業カレッジの開校により、農・林・水それぞれの分野における人材育成システムが整い、今年度は、3つのカレッジ合わせて、県内外から48名の研修生が入校しました。一昨年開校した園芸カレッジについては、今春研修を終えた第1期生23名が、全員県内で就農。将来を担う皆さんの挑戦と活躍を、心から応援しています。

農林水産業は、福井県の豊かさや幸福を支える大事な産業です。農林水産業に携わるすべての方が、自信と誇りを持って、力強く経営を続けられるよう支援していきます。